



「裏金の政治」から「改革の政治」へ

衆議院議員候補(東大阪市)

岩谷良平

いわたに

りょうへい

44歳

日本維新の会
共同代表

吉村 洋文



日本維新の会

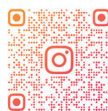


今すぐ「手ぶらで」期日前投票ができます！
8時30分～20時 【10月16日～】市役所本庁舎
【10月19日～】東体育館・希来里・ヴェルノール布施

投票日
10月27日

\\ 毎日配信中! //

\\ ご質問・ご意見募集中 //



岩谷良平 プロフィール

1980年(昭和55年)生 44歳 家族：妻・息子(4歳)
22歳 早稲田大学 法学部 卒業
26歳 京都産業大学 大学院 修了・法務博士
28歳～ 行政書士
30歳～ 大阪府議会議員
同期・盟友の吉村洋文(現知事)らと共に改革を実現。
34歳～ 米国カフェチェーン日本本部社長等を歴任。
2021年 東大阪から衆議院議員に初当選。
国会質疑が評価され、評価機関より「三ツ星議員」に認定。



早稲田大学 法学部卒



同期・盟友の吉村洋文と共に



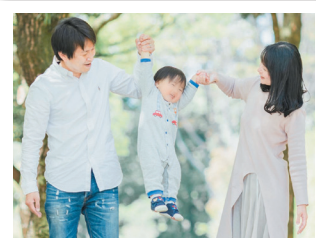
米国カフェチェーン日本本部元社長



国会質問で三ツ星表彰



東大阪の国会議員として

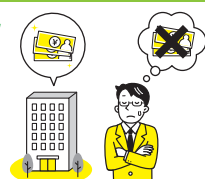


子育て奮闘中

日本維新の会 頒布責任者：大阪市東成区中本3-9-20-710 尾崎 毅 印刷者：大阪市城東区東中浜9-12-23 株式会社錦生堂

4大改革 01

政治腐敗を浄化する政治改革



東大阪の自民党前衆議院議員

維新の会前衆議院議員 岩谷

「裏金」(5年で1408万円)

旧統一教会との関係
あり

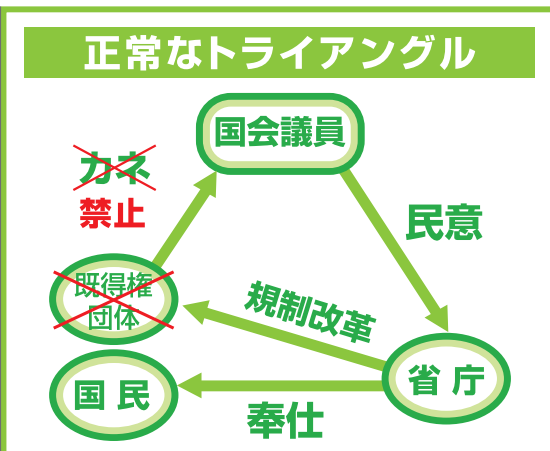
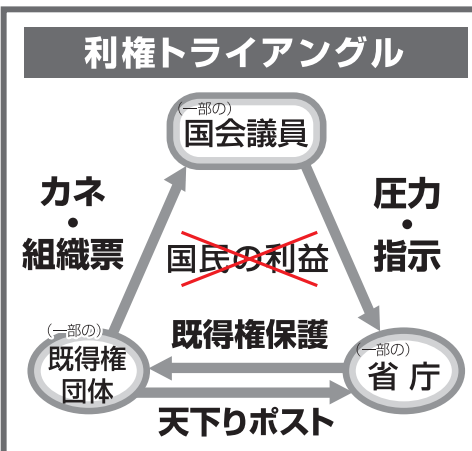
給料自主カット→
能登など被災地に「寄付」(3年で879万円)

旧統一教会との関係
なし

裏金問題

自民党の約90名の国会議員に計約6億円の「裏金」が発覚(判明している5年分のみ)。脱税との指摘も。

	自民党	維新の会
1 旧文通費の領収書	非公開	公開済み
2 政策活動費	存続	廃止済み
3 企業・団体献金の受け取り	存続	禁止済み
4 パーティ券の企業・団体への販売	存続	禁止済み
5 秘書への罪の押しつけ防止策	未実施	実施済み
6 国会議員の給料カット	未実施	実施済み



現状 改革を妨げる「しがらみ」と私利私欲の「裏金政治」

- 1 旧文通費 国会議員一人当たり年1200万円支給。領収書の提出、公開が不要で、小遣いとの批判。
- 2 政策活動費 政党が使う、領収書の公開が10年後で良いカネ。自民党は年約10億円使用。
- 3 4 企業・団体献金とパーティー券の企業・団体への販売 既得権を持った企業・団体との「しがらみ」を生み、規制改革が進まない原因。
- 5 秘書への罪の押しつけ 「裏金」等について、秘書が勝手にやった、自分は知らなかったとの説明が多発。
- 6 国会議員の給料カット 年間約2200万円の給料や旧文通費など、国会議員一人に約1億/年の経費が税金でまかなわれている。

維新・岩谷
の改革

「しがらみ」を断ち、カネを「透明化」。「改革ができる政治」に。

国民に増税を課しながら、「裏金」を作り税金も納めない、腐敗した政治を変えるため、独自実施している維新と岩谷の政治改革を全ての議員に義務付けます。「裏金議員」を政治から退場させ、改革を実現するため、皆様に投票をお願い致します。



政治改革で総理と論戦

手取り収入を倍増させる

成長戦略



現状 可処分所得(手取り収入)が**15%減少**

- 失われた30年 → 日本の経済は低成長で**所得が増えない**
- 増税と社会保険料増の政治 → 20年で一人あたり**41万円の負担増**(平均)

原因 **改革できない政治**

- 既得権企業・団体と与党の国会議員が献金やパーティー券で「しがらみ」。その結果、**規制改革が進まず**、既得権が守られ、イノベーション、産業の活性化が阻まれ、経済成長に失敗
- 少子高齢化の中で、改革をせず、安易に**増税**と社会保険料**値上げ**を繰り返し、教育への税投入も少なく、本来、消費意欲が旺盛な現役世代が、**モノやサービスを買えず**、経済が成長しない



維新・岩谷の改革

成長のための
規制改革と減税、
最低賃金の引き上げ

- 「しがらみ」を断つ**政治改革**と経済成長のための**規制改革**
 - 減税と最低賃金の引き上げ、社会保障改革、教育無償化で、**手取り収入を増やし**、モノやサービスが売れる経済成長を実現
- ・消費税・所得税・法人税の減税と最低賃金の引き上げで手取り収入を増やし、個人消費と企業投資を促進して経済成長を実現します。同時にライドシェアに象徴される既得権に囚われない大胆な規制改革で産業の成長を実現します。

その他の重要政策

東京一極集中の打破

- ・**副首都**大阪や関西州創設(**道州制**)などを実現し、内政は道州に任せ、国は外交・防衛・マクロ経済など国にしかできない事に資源を集中 など



「副首都法」など3年で87本法案作成

女性活躍と一億総活躍社会の実現

- ・**同性婚**や**維新版・選択的夫婦別姓**、手厚い**障がい者支援策**を推進
- ・男女賃金格差を是正し、議員・省庁幹部・企業役員の女性比率を向上
- ・シニアの皆さんの活躍の機会を創出 など

外交・防衛の強化と憲法改正

- ・混乱している国際秩序の再構築を主導
- ・日米同盟を基軸として、防衛力と経済、資源エネルギー、食料を含めた**総合安全保障を強化**
- ・自衛隊員の待遇を抜本的に改善
- ・憲法9条の改正、教育無償化、道州制の創設などを内容とする**憲法改正国民投票**を実現 など



賛成会派のみでの条文案の起草を行うことを改めて提案いたします

憲法審査会委員として改正をリード

400の改革「維新八策」。全文は**コチラ**



番外編

東大阪発展のために!

東大阪では岩谷と同じ**維新**の、野田市長、西野府議、広野府議、11名の市議が連携することで、国・府・市が同じ維新の会だからこそできる様々な施策の実現に向けて取り組んでいます。



国交省へ高架化を要望

例えば

- 0〜2歳児の**保育料無償化**(所得制限なし)
- 市内小中学校の**修学旅行無償化**と**給食無償化**(順次実施中)、**塾代助成**
- 市長の給料**2割カット**と退職金**10割カット**(実施中)、市議会議員定数**2割削減**
- 近鉄大阪線 **俊徳駅〜久宝寺駅間の高架化** など



社会保障の抜本改革



現状 若い世代の負担が年々増加。持続可能性に黄色信号。

- 現役世代の収入の約**3割**が医療・介護・年金の保険料に使われている
- 年金の世代間損得が拡大。1940年生と2015年生で6,300万円以上の差
- 重い社会保険料と年金に頼れない将来不安で現役世代の**消費低迷、経済悪化**

原因 **少子高齢化の進行に伴う医療費や年金の支出拡大**

少子高齢化で支え手の現役世代の負担が増える中で、これまでの政治が、支え手である現役世代が多かった時代の制度を**改革せず**

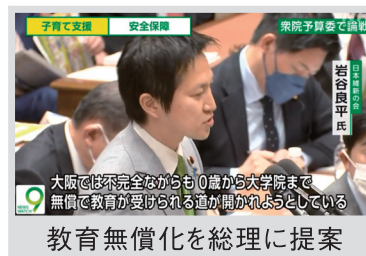


維新・岩谷の改革

現役世代の負担軽減で、経済を成長させ、その恩恵を高齢者を含む全ての国民に。

- 医療制度の適正化による現役世代の社会保険料軽減で**手取り収入を増やす**
- 年金は世代間格差の生まれない積立方式または最低所得保障制度を導入

教育無償化



教育無償化を総理に提案

現状 子育て世代の家計を圧迫する教育費

- 子ども一人あたりの年間教育費 50年で**約37万円の増**
- 子育て世帯の負担増 → 消費低迷 → 経済の低成長

原因 **票にならない事は後回しにする政治**

- 教育機関に対する公的財政支出が先進国で**最低レベル** → 家計で負担



維新・岩谷の改革

全ての子どもに無償教育を保障

- 大阪で私立を含む高校授業料と大阪公立大学・大学院の、**所得制限なしの無償化**を実現中
- 国でも幼児教育から大学院まで**所得制限無しで無償化**
- 塾代・習い事助成**を実施

維新・岩谷の確かな実績

- 大阪府議会議員時代に維新の初期メンバーとして同期・盟友の吉村洋文らと共に**大阪の改革を断行**
- 東大阪市民の代理人として初当選から約3年で質疑等は異例の**44回**。独自の議員立法法案の作成・提出は**20本**
- 評価機関から「**三ツ星議員表彰**」を受賞
- 質疑が度々ニュース、新聞で報道。TVにも複数回出演しベテラン議員らと激論
- 維新の「副幹事長」・「政策役員(政調副会長)」・「防衛部会長」等を兼務し全ての**政策の立案**に関与

大阪

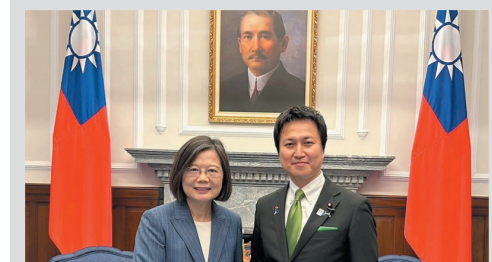
- 政治改革・行財政改革・民営化等、**改革を断行**
- 10年連続**赤字**だった大阪府の財政を、**14年連続の黒字**に
- 増税ではなく改革**で財源を生み出し、成長戦略と次世代への投資(モノレールの東大阪への延伸、大阪独自の教育無償化など)を実行し、**経済成長を実現**
- 2025大阪・関西万博(経済効果は約2兆円・2013年岩谷が初提唱)
- IR(統合型リゾート)の誘致成功(経済効果は約1兆円/年・大阪府市への納付金は約1000億/年) など

国

- 改革政党として3年で**87本**の独自の議員立法を作成・提出し、**積極的な質疑**や多くの**提言書**や対案の提出・公表を通して国会で改革を前に。
- 「何でも反対」ではなく「**是々非々の政治**」により野党のスタイルを変革



「朝まで生テレビ!」で政治改革を激論!



議員外交を推進(台湾の蔡英文・総統と)(当時)